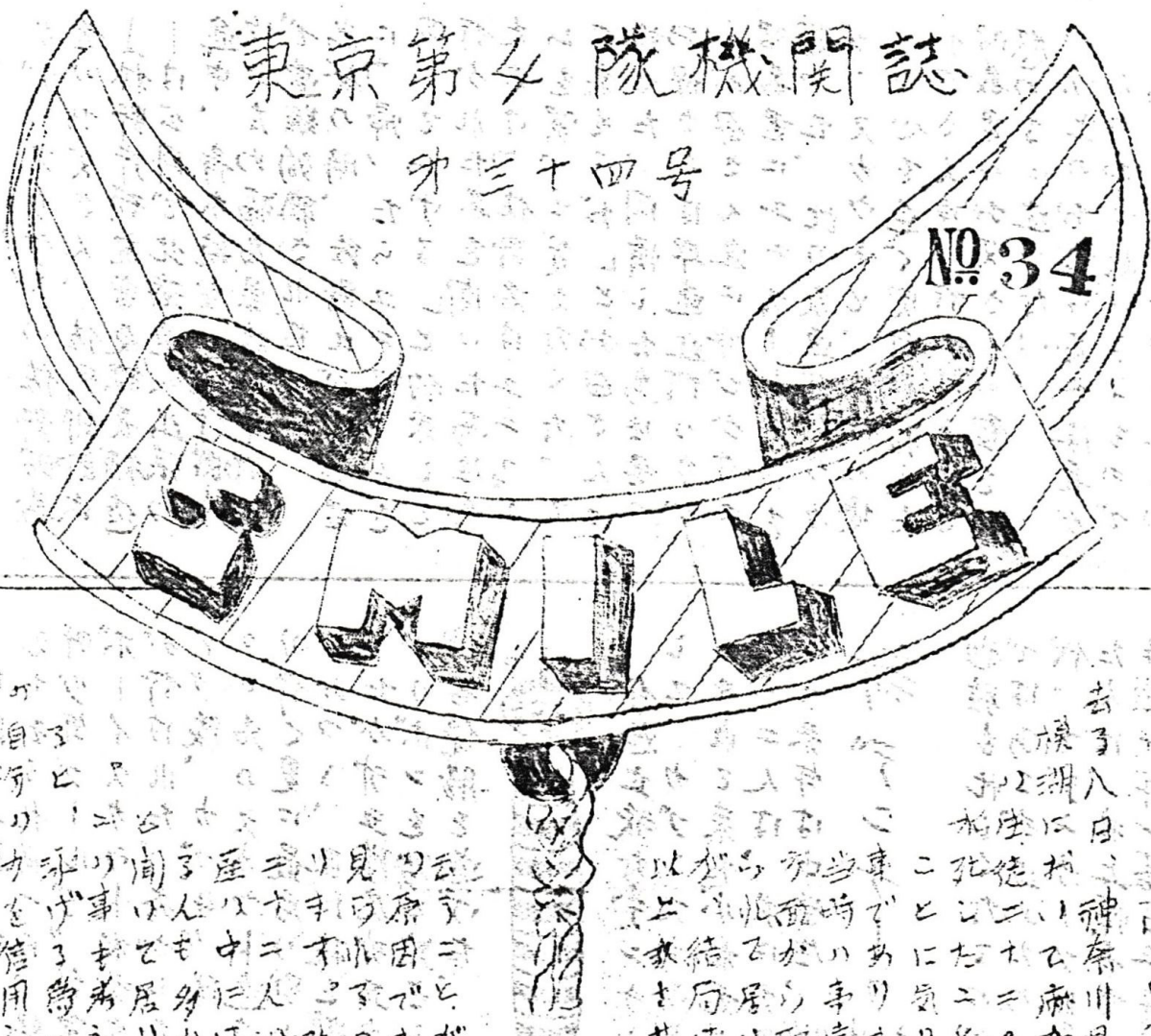


東京第4隊機関誌

第三十四号

NO. 34



相模湖事件

去る八月、神奈川県相模湖に於て、麻生寺で

生じた二名が

此に於て

この事件は

當時の事情は各

方面から取調べ

られ居り、

以上を以て

結局は定員

以上を以て

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

れを以て原因に於て、た

の事も知れずせん。

さして、その不、スカ

ウに於ける諸君が此の様

事件に出会ったと云う

事、その心で、

ウに於ける人も居り、

中にも、その人も居り、

だが、その人も居り、

た、その人も居り、

り、その人も居り、

う、その人も居り、

断、その人も居り、

た、その人も居り、

い、その人も居り、

堅、その人も居り、

作、その人も居り、

下、その人も居り、

方、その人も居り、

成、その人も居り、

き、その人も居り、

か、その人も居り、

か、その人も居り、

人、その人も居り、

昇、その人も居り、

と

と

と

と

と

青木航空機が落ちて

カブ、スカウトの佐野昭義君のお父さん、佐野柳郎氏、林野片研究普及課長補佐は公用で北海道へ出張の途中、青木航空機飛行機事故のため福島県結城峠附近で遭難殉職された。出発の時、佐野氏が昭義君に「帰ったらユニフォームを買ってあげよう」と約束して行かれた事を聞いた高生泰夫君は「佐野君はユニフォームを買って貰えなかった。お母さんに訴えた。同情した高生君のお母さんは早速近所のカブ昭義君にユニフォーム一揃を贈った。此の友達想いのカブ、スカウトと子供達の優しさをよく見て行かされたお母さん達の行いには、昭義君のお父さんの霊を慰めるに違いない。以上のお話は志水隊長からの御手紙に載るものであります。本当に美しい話ですわ。

台東地区で水泳大会

川月も一段と涼しさを加えた去る九月一日、隅田河畔少年プールで、台東地区ボーイスカウト水泳大会が行われた。参加したBSアケ隊、カブ4隊、約200名のスカウト達は、去り行く夏に最後の別れを惜しみつつ、互に技を競い合ったり、たがが五隊及才五カブ隊がリボンを殆ど壊して、総合優勝を遂げた。E.S.



今年迄旅なデンキとして、カブ、スカウトに親しまれて来た小林君と木下君の二人は、共に六年生なのでも来年は中学生、従って新デンキ一ツ井上落合

勉強も忙しくなつたので、残念ではあつたが止めたりせず、代つてデンキ一ツに選ばれる人は、井上慎吾君へ転校、中学一年、落合三幸君へ城南中学一年とです。

BS 印度 総長来日

去る十五日夜、来日した印度の総長を迎える為、山手地区のボーイ、スカウト三十名位が乗取寺に集合した。六時を少し過ぎた頃、総長の自動車到着、スカウト達は玄關前の通路両側に並んだ。その後、本堂でBS.C.S.G.S等と共に厚紙に包まれた、我々山手地区の森ジャズバンド等を歌つて、おげた。八時頃総長の車を送り出して、解散した。

名誉スカウト訓練

次号より、特に山形等はズバリ井の本場だけに、その面白さは天下一品であり、ほじめの日から皆で類似したりしてよく笑った。彼氏あまり気にした。九井でも関西でも皆をうだが、お二が来た良しとこである。三日月に山形氏手紙をもらつた。オラノスニパイカラヨ、テガミデカマワナイカラズ、ズーベ

ンデオラベレトヨロニデカ
ラオライマクラソニスル
ドレハスルダの所はとほし
たかどうかおつとほし
りーといふ何だ！とほし
迄標準語でしゃべつたり
か？とニダヨロニニルに
はあつた。
我々の皆の年長は旭川の中
三と僕の高一を降つてあと
は皆高ニである、何故高ニ
一十七才一で制限されたか
と云うとこれがお世界ジヤ
ンボリへ参加できた最高
年長だからだ、うだ、
今度のキヤムは二十
日、三十日にお客が多数見
えたので、その日を目標に
特にキヤムプアイトの整備
キヤムプアイトの準備
備を行つた。

G.S. ラリー行ある



去る九月十九日、新宿街
苑に於て、ガトル、ワカウ
トのラリーが行われ、我東
京、四国も二回は参加した

明りの太陽の下で、珍々
のハイヤが流行り出したが
四国のスカウト連は、その
優秀さを発揮し、ほとんど
居ての競技を指導して居た
のは非常に喜ばしいことで
ありませぬ

火事だ！！

焼

省の庁舎に火事が起り
四隣のスカウト四名が
少くつけを消火に協力
した。此の日、秋
谷の全国青年大会
からの帰、た今年、青木
杉原、渡辺の四名は、事
火事と知り、なり、事
きき現場にかかり、
火の荷物を運んたり、
火のハットで水を汲ん
でつけたり、又自衛隊り
人と協力して焼きて
り、隣り部屋にと
り、隣り部屋にと
り、隣り部屋にと
り、隣り部屋にと
り、隣り部屋にと
り、隣り部屋にと

急

火のハットで水を汲ん
でつけたり、又自衛隊り
人と協力して焼きて
り、隣り部屋にと
り、隣り部屋にと
り、隣り部屋にと
り、隣り部屋にと
り、隣り部屋にと
り、隣り部屋にと
り、隣り部屋にと

有

水がかららぬように
したりして、
したりして、
したりして、
したりして、
したりして、
したりして、
したりして、
したりして、
したりして、
したりして、

火事

外務省

カレーライスクラブ

カールライツ著

最初り表は、皆スカウト連
が飛んで、いろいろ恒例のキ
キ、いブフ、イヤ、は、止さ
水ました。消灯の合図
にスカウト連は、バ、の
天幕にもどり、した。レ、カ
レ、自、分、リ、班、全、員、が、入、れ、子、様
な、大、き、ソ、テ、ニ、ト、バ、カ、リ、で、は
なく、形、の、テ、ニ、ト、に、分、れ、
入、り、な、り、な、ら、な、い、班、も
い、く、つ、か、お、り、な、い、特、に
その、よう、な、班、で、は、中、々、眠、れ、
ま、せ、ん、何、と、な、く、不、意、で、
テ、ジ、ト、の、す、を、誰、か、が、ま、く
リ、上、げ、る、や、う、な、感、じ、が、ま、
した、十、時、半、も、う、な、り、時
には、誰、も、起、き、て、居、な、い、よ、う
でした。

そ、ろ、ろ、真、夜、中、に、な、つ、て
来た、時、で、した、突然、キ、ム
プ、の、上、身、小、屋、の、あ、たり、か
ら、不、思、議、な、声、が、あ、り、
した、こ、も、な、い、や、う、な、声、が
聞、え、た、か、ら、で、す、鳥、が、し、
か、つ、た、い、い、え、と、う、で、は、あ、り
ま、せ、ん、勿、論、人、間、の、声、で、
ま、あ、り、ま、せ、ん、あ、たり、に、ひ
び、り、た、音、は、ど、う、し、て、も、何

加燃しの胸の叫び声としが
 思われずせん、若うントで
 防一育に懐中電灯をフツ
 した、何だろ、何だろ
 うし、みんぢ気味悪がり
 した、シカレ隊長もスカリ
 トを誰一人とシレニの物有
 を説明出来る人ほありませ
 んでした、みんぢは何者か
 におわれと、了らうな感
 じがして、又うントの中に
 もぐり込ませられた、後
 同いような者が三回位同
 じした、シカレ隊長もスカリ
 の正体を知らぬことか出来な
 ず、一時胸をた、た後、そ
 け及び対り方から聞きた
 川の水から又三時頃は一
 此の夜の新怪な出来事
 た、此の夜の新怪な出来事
 は、危命な睡眠をとり、事
 走らせんでした、その時
 し、ぼろくは、暗い居
 ました、何しろ気味が悪
 て、せろ、ありませんで、
 脱が、ワ、ニン、ありませ
 二着も、ありませんで、

全国青年大会

十月十一日より全国青年
 大会が開かれ、諸処で多く
 も、おし、あ、たが、開
 式が行われ、十一日、式
 々の、競、技、あり、一、番、最、后
 に、ボ、ボ、イ、エ、ス、カ、ウ、ト、の、ヤ
 グラ、組、マ、カ、行、れ、水、回、隊、の、
 橋、渡、田、の、五、名、が、考、加、し、た

切手を交換

諸君の中に、熱心な
 切手、コレ、集、家、が、居、る、で
 して、僕、も、少、し、し、ば、か、り
 切手、を、持、て、ま、す、
 現在、所、買、た、切手
 ぼ、ぼ、ん、の、ウ、レ、シ、が、あ、り
 ませ、ん、ニ、水、は、僕、の、自
 慢、の、一、つ、で、す、
 さて、誰、か、僕、と、切手
 を、交、換、し、て、水、を、せ、ん
 かと、ま、し、七、り、気、が、あ
 った、ら、僕、に、云、て、下
 さ、し、う、集、て、ヒ、リ、か、え
 ま、し、う、上、組、班、長

ハット	¥600
キャップ	¥110
ストップ	¥125
ポット	¥60

其の他、ユニフォーム、スポンジ、
 特賣中なり
 日連需品部

編集後記

才三十三号が、一、大、き、な、な、り
 した、た、り、で、九、月、は、休、刊、致、し、ま
 した、今、月、は、青、木、さん、並、に、ス、カ
 ウ、ト、諸、君、の、御、好、意、に、よ、り、新、し
 い、ガ、リ、版、が、買、入、れ、ら、れ、ま、し、た
 ニ、リ、編、一、寸、進、れ、し、た、が、記、事
 も、沢、山、集、り、大、変、感、謝、し、て、居、ま、す
 せ、び、ス、カ、ウ、ト、の、方、々、が、原、稿、を、出
 して、下、さい、を、う、す、水、は、一、原、よ、り
 ス、マ、イ、ル、に、な、り、ま、す、と、す、
 ト

又、マ、イ、ル、才、三、十、四、号、(非、賣、品)
 発行、昭和、十、九、年、十、月、十、六、日
 発行、人、今、田、國、士、雄
 編集、人、渡、辺、澄
 印刷、又、マ、イ、ル、編、集、部
 発行、所、東、京、都、港、区、赤、坂、壺、南、坂、十、四
 日本、ポ、イ、ネ、テ、ラ、下、東、京、才、四、段